



宮城県古川高等学校 同窓会報

新南校舎竣工

平成25年2月から工事が始まった新南校舎は、平成26年1月17日、予定通り竣工しました。教室は窓が大きく明るい日差しが差し込みます。廊下はロッカーが邪魔で狭かった旧校舎に比べると非常に広く、個人ロッカーも壁際にすっきりと収まっており使い勝手が良さそうです。校舎の東端には吹き抜けの多目的ホールも作られました。全面的ガラス張りのたいへん明るいホールで、様々なものに利用できそうなスペースです。すでに各種の集会や、様々な発表の場として活用されています。新し



新南校舎

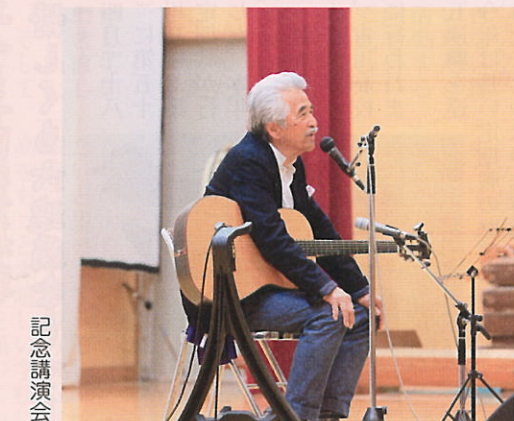


新南校舎・多目的ホール

い古高の象徴的な場所になっていくのではないのでしょうか。エレベーターも備えられ、怪我をしている生徒の上り下りや、進路関係の資料の運搬などがたいへん楽になりました。各階に設けられた講義室にはエアコンも完備され、夏の暑い時期の課外講習などでは重宝しそうです。生徒達も、「明るくて気持ちが良い」「広くてゆとりが感じられる」「せつかくのきれいな校舎なので、きれいに大切に使用していきたい」と新校舎への感想を語ってくれました。



記念式典



記念講演会

5月2日には南校舎落成記念式典が開催されました。記念式典に先駆け、本校OB（19回生）のさとう宗幸さんにおいていただき、「ふれあいの時を求めて」と題して歌と講話をいただきました。母校を23年ぶりに訪れたという宗幸さんは、気さくな語り口で、高校生時代の懐かしい思い出話や、音楽にかけた熱い思いを語って下さいました。そしてあの「青葉城恋歌」を皮切りに、数曲を弾き語りで披露していただきました。最後は本校合唱部とのコラボによる「花は咲く」。感動的なコンサートになりました。コンサートの後、記念式典が挙行され、学校長式辞、同窓会長さん、PTA会長さんからご祝辞をいただきました。生徒会長の挨拶に続き、最後は応援団長によるエールと校歌の斉唱で式を閉じました。

新南校舎落成記念式典

「宗さん、母校で語り、歌う」



会報108号に寄せて

宮城県古川高等学校同窓会
会長 渡邊義之(高11回)



青葉の美しい季節が到来しました。何時もながら自然は大地というキャンパスに見事な絵画を描くものだと感じしております。同窓生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。常日頃、同窓会の諸活動に対し、多面的なご支援を賜り心から謝意を表します。

さて、同窓会の近況ですが、昨年の総会は多くの方々に参加して頂き盛会のうちに開催できましたこと、改めて御礼

を本年度中に贈呈致します。次に、同窓会からの母校生への支援ですが、従来から入学生や卒業生への記念品の贈呈、生徒会への支援、それに奨学金の授与等を実施してまいりました。今年からは同窓会の奨学生を増やし、ささやかでも母校生のお役に立てればと願っております。

次に、同期生の会や若い同窓生の活動も応援していきたいと考えております。また、同窓会の新たな有様を求め、事務局体制の強化に努めてまいります。

え皆様方のご支援に感謝しながら、この3月学舎を巣立ってゆきました。また、南校舎が竣工し、5月2日にその落成式と創立記念を兼ねた講演会が開催され、皆様ご存知のさとう宗幸氏(高19)が名講演をいたしました。また、新校舎の完成を記念して、11回生の「士志の会」より函南歌の木版額が寄贈されました。終わりに同窓生の皆様方の益々のご健勝とご活躍、そして母校の限りない発展を心から切望し、ご挨拶と致します。

ご挨拶

宮城県古川高等学校
校長 鈴木悟



創立118年目の春を古高生は新校舎で迎えることができました。素晴らしい一年がスタートしました。

同窓会の皆様方には、日ごろより母校に心を寄せていただき、誠にありがとうございます。

今春の卒業生は236名。震災後の3年間を本校で過ごし、志高く巣立っていきました。先輩方のご指導よろしくお願致します。

今年度は男子130名、女子110名、計240名の新入生が古高の門をくぐりました。男女共学10年目にあたりますが、伝統の応援練習は健在です。定期戦6連覇はなりませんでしたが、敗戦を謙虚に学ぶ姿、その後の奮起には目を見張るものがあります。

今後にご期待下さい。文武両道に励む後輩への応援よろしくお願致します。

いつもながら同窓の皆様か

らは、物心ともに多大なご援助いただいたいておりますがその一部をご紹介します。

新校舎落成記念として、「士志の会」(11回生)から「函南歌」(額装)を寄贈されました。今春の卒業式では、初めて体育館正面右手の「校歌」、左手の「函南歌」を背に卒業生が退場しました。

唱部との合唱「花は咲く」に、古高生一同復興への思いを再確認することが出来ました。

さて、今年度を宮城県では復興3年目に続く再生期と位置づけています。本校も、3代目の校舎落成にあわせて、本格的な古高ネクストステージに入ります。文武両道に励むことにより、質実剛健・学問尊重・自主自律の校訓を体現できる人づくりを高いレベルですすめていく古高を今後ともよろしくお願致します。

「ふれあいの時を求めて」と題した講演&コンサートという言葉、歌の響きのひとつひとつが古高生の心に染みていきました。そして、合



第五十五回定期戦

惜しくも六連覇ならず



去る四月二十八日(月)に第五十五回古川高校対築館高校定期戦が行われました。本年度は「乾坤一擲」紫龍・隼虎並び立たずをスローガンに、古川高校を会場に行われました。

昨年五連覇を達成し、今年も長い定期戦の歴史の中でも一度も達成されたことのない六連覇を懸けて戦いの火ぶたが切られました。

今回の五連覇を含めて過去には四回の五連覇がありますが、いずれも六連覇ならず。初めての六連覇という大記録に向けて十五種目で熱戦が繰り広げられました。

しかしもうこれ以上は勝たせたくない築館高校の必死の勢いもの凄く、結果、古川高校7勝、築館高校8勝で、本年度は築館高校の勝利で幕を閉じました。(通算成績は三十七勝十五敗三分)

連勝記録はリセットされましたが、また新たな五連覇、六連覇を目指して、まずは来年の一度勝を勝ち取るべく頑張ってくださいと思います。

定期戦対戦結果

種目	点数		勝敗	種目	点数		勝敗
	古高	築高			古高	築高	
野球	4	5	×	剣道	3勝	2分	○
サッカー	2	0	○	男子バスケ	71	31	○
男子バレー	2	0	○	女子バスケ	55	47	○
女子バレー	1	2	×	男子バドミントン	1	4	×
男子テニス	4	1	○	女子バドミントン	1	4	×
女子テニス	0	5	×	綱引き男子	2	1	○
男子卓球	1	3	×	綱引き女子	0	2	×
女子卓球	2	3	×				7勝8敗

平成26年度 同窓会奨学生

各学年の成績優秀な生徒に同窓会から奨学金を授与するもの。(一) 年生は入試成績が抜群なもの。二・三年生は前年度成績優秀なもの。見授与者。金額は六万円)

- 一年 佐々木春菜
二年 赤石 大地
三年 中嶋 沙織



感謝の言葉

この度は古川高校同窓会奨学生に選抜していただき、本当にありがとうございました。この知らせを受けた時から、まさか私のような者がという驚きと喜びで胸がいっぱいです。それと同時に、私を支えてくれるたくさんの方々に、より一層感謝しなければならぬと思います。
学習や部活動等で、忙しい日々を過ごしています。不慣れなこと、初めて経験すること、

たくさんさんの体験があり、とまどいや疲れをとっても感じます。しかし、大変なのは私だけではありません。毎日弁当を作ってくれる母、会社で汗水流して働く父、授業をしてくださる先生方、笑顔してくれる友人達、そして温かく見守ってくださるたくさんの方々。この場を借りて、感謝の気持ちを伝えたいです。
新入生宣誓に加え、古川高校の歴史の名譽ある一部となつたからには、背負う期待もそれだけ大きいと思います。弱い自分を抑え、意志を強く持ち、文武両道、しっかりと励んでいきます。

改めて、今回このような名譽をくださることに、深くお礼申し上げます。
改めて、今回このような名譽をくださることに、深くお礼申し上げます。

進路実現に向けて

この度は古川高校同窓会奨学生に選抜していただき、本当にありがとうございます。このことを初めて伺った時は、とても驚きました。今でも信じられないほどです。また、今までさまざまな面で私を支えてくれた家族に対して、恩返しをできたことも嬉しく思っています。
今年から二年生になった私たちは、進路について、より具体的に考える必要があります。そのための学習にも力を入れ、積極的に取り組みたいです。また、先生方や家族に頼るばかりではなく、自分で調べ、考えることで、三年生に成長できると思います。さらに生になった時に焦ることのないように、今からできる範囲で準備をしていきたいです。

今年から二年生になった私たちは、進路について、より具体的に考える必要があります。そのための学習にも力を入れ、積極的に取り組みたいです。また、先生方や家族に頼るばかりではなく、自分で調べ、考えることで、三年生に成長できると思います。さらに生になった時に焦ることのないように、今からできる範囲で準備をしていきたいです。

未来に向けて

この度は古川高校同窓会奨学生に選抜していただき本当にありがとうございます。私にこのような名譽ある奨学生に選ばれるとは思っていません。改めて、今回このような名譽をくださることに、深くお礼申し上げます。
改めて、今回このような名譽をくださることに、深くお礼申し上げます。

私たちが三年生は、これからそれぞれが進路目標を達成するためにさらに努力しなければなりません。この一年間は順風満帆であるとは限らないと思います。しかし、この一年間は自分の将来への過程としてとても大切な一年間でもあります。多少の困難にはくじけず、今まで部活動等で身につけた強い精神力を勉強でも発揮し、最後まであきらめずに頑張りたいと思います。
今回奨学生となったことは、私にとつての大きな自信となりました。この自信を自分にとつてのエネルギーとし、周りの方々への感謝の気持ちで忘れずに生活していきたいです。そして、これからも進路目標の達成のために、常に意識を高くもち、努力を続けていきたいと思えます。

平成二十五年「蛭雪章」受賞者

今年度、クラブ活動等の各種活動において、全国大会もしくは同等の成績を収めた生徒に対して、校章を記した「蛭雪」の盾を授与するもの。

- 第37回全国高等学校文化祭出場 自然科学部門化学部門 最優秀賞
高橋可南子 鈴木 麻夕 小松 哲也

- 平成25年度全国高等学校総合体育大会第63回全国高等学校スキー大会ク口スカントリ―出場
内藤 法幸

- 平成25年度第32回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会出場
菅原 康平 山形 優太
堀越 健人 西藤 浩史
遠藤 偉翔 佐藤 勇也
菅原 祐平 内藤 直人
小山 祐来 寺内 勇佑
手塚 亮典 阿部 寛廉
下林 亮典 鳥田 達也
高橋 亮典 阿部 寛廉
佐々木隼人 高橋 達也



東京蛭雪賞

三力年の本校在学中、生徒会活動・クラブ活動等、高校生活全般にわたり、顕著な功績のあつた生徒を称えると共に、後輩生徒の道しるべとなるよう、本校在京同窓会から授与するもの。

- ★受賞者
前生徒会長 今野 省吾
前応援団長 佐々木喜希

「未来へ」

この度は東京蛭雪賞という素晴らしい賞をいただきましたこと、大変誇らしく思います。ありがとうございます。
生徒会長 今野省吾

この度は東京蛭雪賞という素晴らしい賞をいただきましたこと、大変誇らしく思います。ありがとうございます。
生徒会長 今野省吾

「進化する古高」

私が一年間、古川高校の応援団長として役目を果たせたこと、東京蛭雪賞という大変素晴らしい賞をいただいたこと、これもすべて、多くの方々の支えがあつてこそ、心から感謝を申し上げたいと思います。卒業を迎えたいと思いましたが、早く過ぎてしまった古川高校三年間、その中の充実感でした。特に団長として過ごした日々は印象深いものでした。

去年、先代の団長のおかげで復活した一般応援歌、野球部の歌、球技部の歌、剣道部の歌は私たちの代でも応援団の仲間と古高生たちの積極的な取り組みによって、今回の定期戦では、ほぼ完璧に歌うことができました。それは、先代の団長の願いでもありました。定期戦では応援、競技においても今までのないほど力を入れたことが、五連覇を成し遂げ、喜びをかち合うことができ、古高生の良さを改めて感じることができました。

最後に、私は人生という名の道はこの三年間で得た古高の力を糧に進んでいきたいと思えます。そして後輩達はその力を得られる古高をもっと素晴らしい学校にしてくれることを願っています。

古高同窓会 平成25年度 会計決算書・平成26年度 予算書

I 一般会計

平成25年度	収入決算額	4,831,171円	平成26年度	収入予算額	4,850,000円
	支出決算額	4,050,845円		支出予算額	4,850,000円
	差引残高	780,326円 (次年度へ繰越)		差引残高	0円

1. 収入の部

項目	平成25年度予算額	平成25年度決算額	比較増減	摘要
繰越金	70,701	70,701	0	
年会費	2,400,000	3,108,000	708,000	2,000円×1,554人 振込手数料(多年度分納入者80人分含む)
入会金	720,000	711,000	▲ 9,000	3年生(3,000円×237名)
総会会費	700,000	784,000	84,000	4,000円×196人分
雑収入	69,299	157,470	88,171	支出返金、銀行利子、百年史売上金など
計	3,960,000	4,831,171	871,171	

平成26年度予算額	摘要
780,326	
2,800,000	1,200人予定
708,000	3年生240名
500,000	4,000円×125人
61,674	寄付金等
4,850,000	

2. 支出の部

項目	平成25年度予算額	平成25年度決算額	比較増減	摘要
運営費	1,520,000	1,750,844	230,844	
消耗費	20,000	14,229	▲ 5,771	事務用品
通信費	80,000	57,080	▲ 22,920	はがき、切手など
旅費	430,000	355,004	▲ 74,996	支部同窓会への旅費
慶弔費	10,000	45,008	35,008	生花・弔電代
会議費	400,000	453,628	53,628	支部同窓会へのご祝儀、 役員会経費
総会経費	550,000	769,090	219,090	会場使用料、懇親会
広告費	30,000	56,805	26,805	新聞広告掲載代
事業費	2,240,000	1,929,351	▲ 310,649	
記念品	260,000	191,440	▲ 68,560	卒業証書ホルダー、 蛍雪ハッチ
奨学金	360,000	180,000	▲ 180,000	60,000円×3名
助成金	200,000	100,000	▲ 100,000	部活動補助金
会報発行	1,400,000	1,168,609	▲ 231,391	会報107号印刷費、発送手数料 (7,196部)
その他	20,000	289,302	269,302	サラト名簿管理代、サラト入金 処理、振込手数料など
予備費	200,000	370,650	170,650	
	200,000	370,650	170,650	同窓会本部旗・支部旗作成代
計	3,960,000	4,050,845	90,845	

平成26年度予算額	摘要
2,070,000	
120,000	
80,000	
450,000	
50,000	
500,000	
800,000	
70,000	
2,380,000	
260,000	
360,000	
500,000	
1,200,000	郵送料含む (7,000部予定)
60,000	
400,000	
400,000	
4,850,000	

II 特別会計

平成25年度決算	平成26年度予算
繰越金 847,296円	繰越金 931,743円
収入決算額 84,447円 (CD立替84,350円+利子97円)	収入予算額 84,447円 (CD立替金+利子)
支出決算額 0円	支出予算額 0円
差引残高 931,743円 (次年度へ繰越)	差引残高 1,016,190円



幕を閉じました。

その後、その後の記念講演では、講師として中国科学院大学教授の佐々木力氏(昭40卒・高17回)をお迎えし、「21世紀東アジアの自然哲学」という演題で講演をいただきました。数学ばかり勉強していたという高校時代の思い出から、なぜ自分が中国の大学院の教職に就いたのかというお話で講演が始まりました。プリンストン大学ではパラダイムという言葉で有名なトーマス・クーンに師事したという話には驚きました。報道ではなかなか知ることの出来ない現代中国のお話はいへん興味深いものがありました。

その後全員での記念写真撮影、懇親会と続き、最後は恒例の応援歌の大合唱となり、盛会の内に幕を閉じました。

平成二十五年総会開催

平成25年8月10日(土)午後1時から「芙蓉閣」(大崎市古川)にて平成25年度同窓会総会が、196名の会員を迎えて盛大に開催されました。

当日は物故者への黙祷、校歌斉唱から始まり、渡邊義之同窓会長、鈴木悟校長からの挨拶の後、在京同窓会長高橋俊裕様、関西蛍雪会長松谷篤郎様よりご祝辞を頂きました。

議案審議に移り、平成24年度の会計報告、行事報告、平成25年度の会計予算、行事予定が承認され、続いて平成25年・26年度役員承認がされました。